

わが町が現実的に対応できる役場本庁舎の建設促進（群馬県東吾妻町）

取組概要

老朽化が非常に進んだ役場本庁舎の建設検討の結果、将来負担に最大限考慮した既存施設の有効活用による『お城の外観の庁舎』を開庁することができました。
また、この移転にあわせて、行政効率を向上させたお客さまが利用しやすい窓口体制を目指し、縦割りを廃したワンストップサービス提供の「総合窓口」を開設することができました。

取組の効果

- 取組の効果・成果
 - 「庁舎建設基金残高」 H23 1.4億円 ⇒ H28年度 9.6億円(8.2億円増)
 - 「将来負担比率の推移」 H23 119.2% ⇒ H29 55.2%(▲64.0%)
- 総事業費 1,288,059千円(人件費除く)
 - うち合併特例債 1,165,700千円(70%交付税措置)
 - 自己財源 122,359千円(107,534千円は庁舎建設基金)

創意・工夫した点

先進地視察や検討協議について、全庁上げて各課横断的な組織で取り組みを進めるとともに、新庁舎への移転にあわせた組織機構改革により、窓口業務の改善など住民サービスの向上を追求しました。

他団体へのアドバイス

当町の取組は、全庁上げて各課横断的に職員が集まり、時間を掛けて丁寧に調査検討した結果でもある。

これは、既存施設を有効かつ大切にしたい「コンバージョン」が最善の策と判断できる時間を掛けた政治的な環境づくりが特に重要でした。

人口 13,556人 (R2.1.1現在)

担当 総務課・企画課



新庁舎の完成鳥瞰図



開庁式典 平成31年1月4日